

タイトル「**2019年度 経済学部シラバス**」、フォルダ「**2019年度 経済学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。

科目名	現代グローバル経済論		
担当教員	太澤 健		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	火3	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2・3年次		
科目名（英語表記）	Contemporary Global Economy		
授業の概要・ねらい	<p>21世紀の経済を理解する上でもっとも中心的な概念である「グローバルイゼーション（グローバル化）」について、資本主義社会の基本的な構造と、国家の意味を2つの軸として、その歴史的な発展過程から説明します。</p> <p>資本主義社会とは「資本」（＝企業）を中心として経済が営まれる社会です。グローバル化の第一の意味は、資本＝企業の活動の世界化のことで、この社会の基本的な特徴が経済を世界規模にまで拡大していることです。そして、第二の意味は20世紀の経済において主要な役割を担ってきた国家の役割が変化していることにあります。</p> <p>資本主義・市場経済のダイナミズムと国家との対抗関係の中で進む現在のグローバル化について考えてみましょう。</p>		
授業計画	回	内容	
	1	ガイダンス	
	2	1. 資本主義社会の基本的特徴－「利潤追求」と生産の拡大	
	3	2. 資本主義と国家①－資本主義の歴史と国家論争	
	4	2. 資本主義と国家②－資本主義の成長段階と国家の役割	
	5	3. 資本主義の歴史（1）重商主義と世界市場の形成	
	6	3. 資本主義の歴史（2）産業革命と帝国主義－第一期グローバル化	
	7	3. 資本主義の歴史（3）帝国主義の対立と世界大戦	
	8	3. 資本主義の歴史（4）第二次世界大戦と戦後の世界経済体制	
	9	3. 資本主義の歴史（5）20世紀システム	
	10	4. グローバル化へ（1）1980年代の資本主義の変化	
	11	4. グローバル化へ（2）社会主義の崩壊とその意味	
	12	4. グローバル化へ（3）新興工業国の発展	
	13	5. グローバル化の意味（1）資本の世界化と4つの市場統合	
	14	5. グローバル化の意味（2）グローバルイゼーションと国家の変質	
	15	ふりかえり	
到達目標	市場経済、資本主義の基本的な仕組みと、その歴史的な成長過程を説明することで、他の講義の基礎になる知識の習得を目指します。現在のグローバル化を理解するためには、資本主義の性質と国家の役割、時代とともに変わっていく両者の関係を知る必要があります。それを学ぶことで、今われわれが直面している社会の意味を理解することを目標としています。		
成績評価の方法	講義の中で行う小テストおよびレポート30%、試験70%によって評価する。		
教科書	柴田信也編著『政治経済学の再生』創風社		
参考書・参考文献	講義内で指示する。		
履修上の注意・メッセージ	特に必要が準備はありませんが、普段から経済ニュースなど世界の動きに触れておいてください。		
履修する上で必要な事項	講義のスピードが速く、板書も多いので、それに慣れてきちんとノートをとる練習をしてください。		
受講を推奨する関連科目	社会経済学入門、市場経済論		
授業時間外学修についての指示	本授業の授業計画に沿って、講義内容を理解するため復習を十分行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学修を求めます。		
その他連絡事項			
科目ナンバリング	E338001GJ,E338002SJ		